

プルダウンリストから、上期、下期のいずれかを選択します。

プルダウンリストから、天然ウラン、劣化ウラン、トリウムのいずれかを選択します。  
複数の核燃料物質を使用する場合は、セル毎に選択します。  
一種類目のみの場合は、空白のセルに「-」を記入します。

供給当事国は、国際規制物資使用許可申請書時に記載した国名を記載します。  
多くの場合、「その他」と記入しますが、昭和52年以前に許可を得た事業者については、国名を申請書に基づき記入します。

プルダウンリストから酢酸ウラニル、酢酸ウラニル亜鉛、硝酸ウラニル（六水塩）、硝酸ウラニル（四水塩）、塩化ウラニル、二酸化ウラン、三酸化ウラン、八酸化三ウラン、金属ウラン、硝酸トリウム（六水塩）、硝酸トリウム（四水塩）、酸化トリウム、金属トリウム、その他（ ）のいずれかを選択します。

③その他の増加：以下の計算で値が正となった場合には、この欄に記入します。  
 $10 - (1 + 4 - 9) > 0$   
また、事故増加の場合もこの欄に記入します。その際、余白部に「事故増加」と記入します。

⑥消費・廃棄又は損失消費、損失等による減少があれば、この欄に記入します。

⑦事故損失事故による損失が発生した場合には、この欄に記入します。

⑩期末在庫報告対象期間の最終日における在庫量を記入します。

年 核燃料物質管理報告書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

原子力規制委員会 殿

住所 代表（本社）の住所  
名称 法人名

代表者氏名 代表者の役職名及び氏名

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び国際規制物資の使用等に関する規則第7条第21項の規定により、次のとおり報告します。

工場又は事業所	名称	核物質を扱う事業所（正式名称）	
	所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 事業所の住所	
核燃料物質計量管理区域(MBA)の符号			
事務上の連絡先	名称	連絡可能な連絡先名称	
	所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 連絡可能な連絡先 電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 FAX番号 〇〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	
	連絡員の氏名	連絡可能な連絡員氏名	所属部課名 所属部課名称

核燃料物質の区分	-	-	-
供給当事国	-	-	-
化合物又は混合物の名称	-	-	-

( ) 内は化合物又は混合物の重量を表わす

事項		数量 [単位: g]		
①	期首在庫	- ( - )	- ( - )	- ( - )
期中増加	② 受入れ 払出工場又は事業所名及びMBA符号・受入年月日	MBA: - 年月日	MBA: - 年月日	MBA: - 年月日
	③ その他の増加	- ( - )	- ( - )	- ( - )
	④ 増加の計 (②+③)	- ( - )	- ( - )	- ( - )
期中減少	⑤ 払出し 受入工場又は事業所名及びMBA符号・払出年月日	MBA: - 年月日	MBA: - 年月日	MBA: - 年月日
	⑥ 消費・廃棄又は損失	- ( - )	- ( - )	- ( - )
	⑦ 事故損失	- ( - )	- ( - )	- ( - )
期末	⑧ その他の減少	- ( - )	- ( - )	- ( - )
	⑨ 減少の計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	- ( - )	- ( - )	- ( - )
⑩	期末在庫	- ( - )	- ( - )	- ( - )

⑨期中減少の計  
⑤+⑥+⑦+⑧

MBA符号は、国際規制物資の使用許可を得た際に、国から通知のあったMBA符号を記入します。

①期首在庫：前期核燃料物質管理報告書の期末在庫をそのまま記入します。初めて報告する場合には、在庫なしを表す「-」を記入します。

②受入れ：相手先の名称及びMBA符号を「払出工場又は事業所名」の欄に記入し、その右側に受け入れた年月日ごとに受け入れた数量を記入します。

④期中増加の計：②+③

⑤払出し：相手先の名称及びMBA符号を「受入工場又は事業所名」の欄に記入し、その右側に払い出した年月日ごとに払い出した数量を記入します。

⑧その他の減少以下の計算で値が負となった場合には、この欄に記入します。  
 $10 - (1 + 4 - 3) < 0$